

環境への取組みについて

環境への取組みについて

現在の主な地球環境問題として、下記の項目が挙げられます。

- ・ 地球温暖化
- ・ オゾン層の破壊
- ・ 酸性雨
- ・ 海洋汚染
- ・ 熱帯林の減少
- ・ 野生動物の減少
- ・ 砂漠化
- ・ 発展途上国での公害
- ・ 有害廃棄物の越境移動



これらの項目は一定地域だけで発生し、その地域だけで問題になるということではなく、国境を越えて様々な地域で問題となり、環境へ影響を与えています。これらの地球環境問題に対しては、国際的な枠組みでの対策とサステナビリティの考えが必要不可欠であると考えます。これらを念頭にハルナグループが取組むことが出来る地球環境問題対策として、より環境負荷の少ないエネルギーへの転換や再生可能エネルギー（太陽光発電やバイオマスエネルギー等）の導入、省エネルギー設備の導入、廃棄物排出量の削減や再生利用等を推進していくと共に、社会貢献活動を含めた環境経営によるハルナグループの企業価値の継続的向上を引き続き行ってまいります。

事業活動によるCO2排出量の削減に向けて

地球温暖化の要因の一つである CO2 の排出量削減対策として、ボイラー燃料で使用していた A 重油から、より CO2 排出量の少ない都市ガスへの切換をハルナプラントで 2012 年 8 月に実施しました。併せて A 重油焚き用ボイラーからガス焚き用ボイラーへの入替えと今まで分散していたボイラー設備の集約化も実施しました。また、A 重油を燃料とした発電機からの電力供給も同時に終了しています。

このような活動推進として、これまで省エネ委員会において社員一人ひとりのアイディアに対し活発な議論によって実現していましたが、2011 年度よりエネルギー政策は更なる重要課題と位置づけ、「エネルギー戦略会議」として再生エネルギー等将来に向けたエネルギー政策について検討・協議も進めています。



環境会計

環境会計

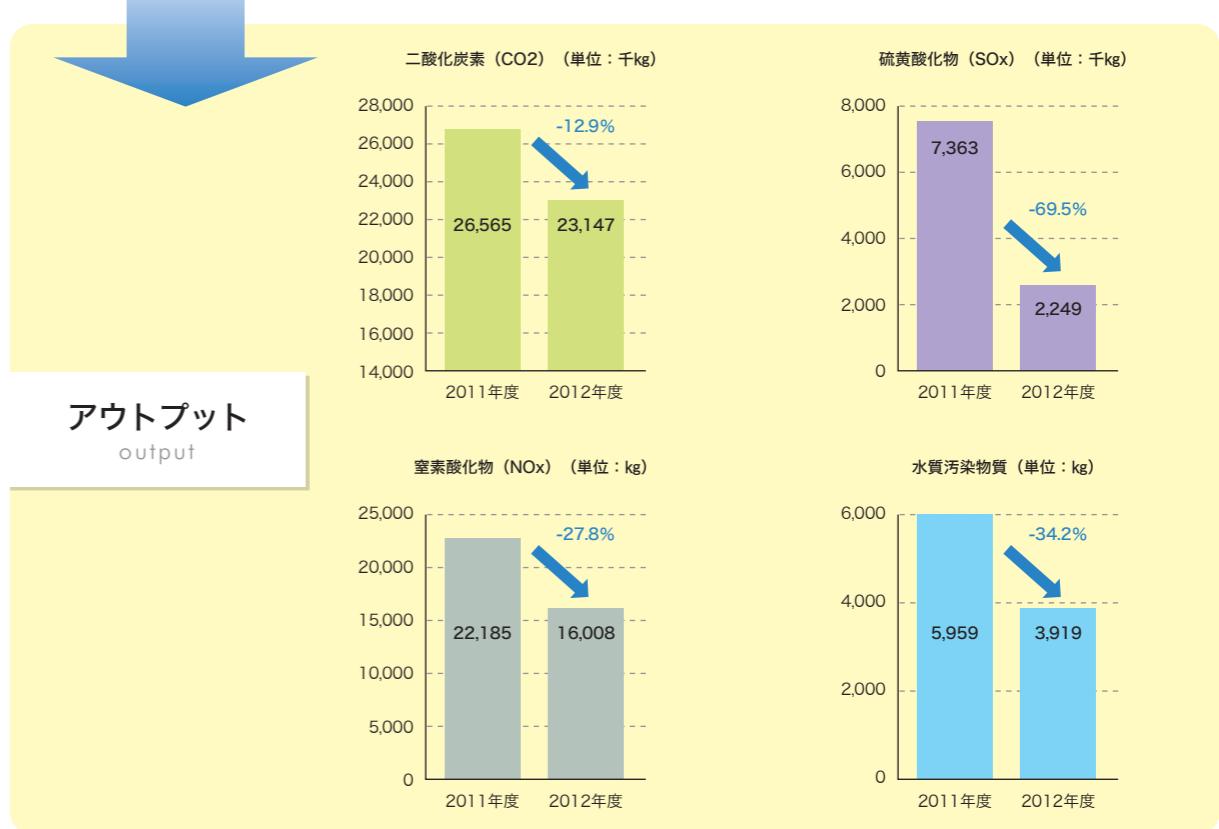
2012年度は省エネ活動の結果、エネルギーと水資源の使用量は減少しております。

ハルナプラントのボイラー動燃料をA重油から都市ガスへ切り替えることにより、ボイラーエff率の

向上や温排水の潜熱利用効率の向上対策、日々の省エネ活動の継続的推進を行い、環境負荷の低減に努めてまいります。



インプット
input



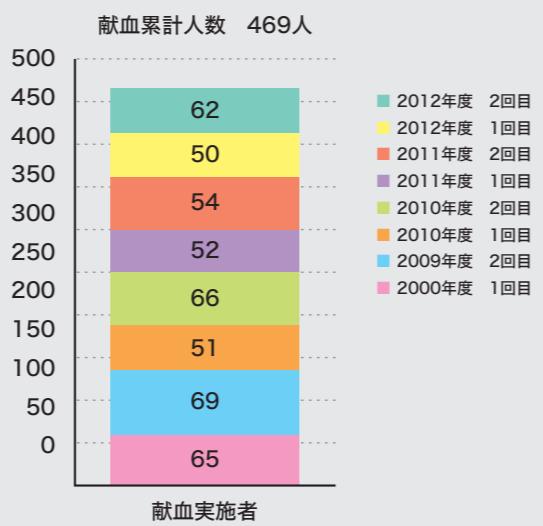
アウトプット
output

社会貢献活動

社会貢献活動

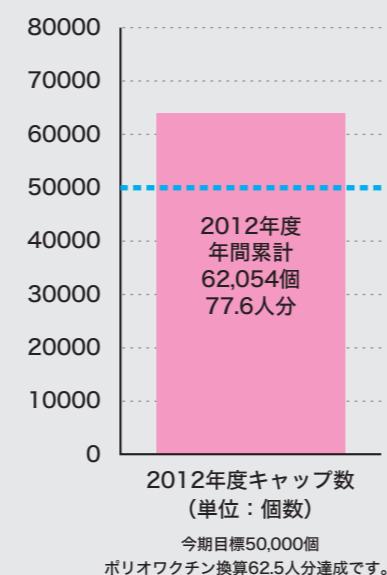
献血活動

2009年5月から群馬県赤十字血液センター様ご協力のもと、献血車による献血活動を開始し2012年度までの累計で469人の献血を実施いたしました。今後も定期的に献血活動を実施していきます。



エコキヤップ活動

ペットボトルのキャップを回収し再資源化することで得られた売却益の一部を、開発途上国の子供たちへのポリオワクチン代として寄付するエコキヤップ活動に2009年5月から参加しています。2012年度までの累計で234,680個（ポリオワクチン293人分）のキャップをお渡ししています。
(キャップ800個でポリオワクチン1人分)



社員一人一人が、地域貢献の精神を高め自然や環境に対して感謝の意を込めながら地域の清掃活動に取り組んでいます。

河川清掃活動

ハルナプラントでは、自然環境保護の一環として工場横にある唐沢川の清掃活動に、地域の方と一緒に参加しております。



地域清掃

タニガワプラントでは、地域環境保護の一環として工場横にある用水路の清掃活動を行っています。



群馬GS活動

群馬県主催の春の環境美化月間「環境美化運動・清掃活動」に参加しています。
月夜野道路情報ターミナル周辺 利根川河川敷

